

平成21年美祢市10大ニュース

皆さん平成21年はどのような1年でしたか。美祢市内でも色々な出来事がありました。平成21年の美祢市の10大ニュースを振り返って見ましょ。

美祢市・秦荘市友好都市協定調印式

4月3日、本市と中国山東省秦荘市は、両市の友好関係を長期にわたって安定発展させるための「友好都市交流協力協定書」に調印を行いました。

合併一周年記念式典ならびに秋芳洞開洞百周年記念式典開催

4月4日、秋芳洞の開洞百周年を記念して秋芳洞案内所前で、テープカットとくす玉割が行われました。

場所を美祢市民会館に移し、合併一周年記念式典が、開催され、式典では、市章、市旗、市民憲章、市の花「サクラ」そして市の木「カシ」が発表され、新市の新しいシンボルが誕生しました。式典終了後は、合併一周年・秋芳洞開洞百周年記念ミステリーイベントが開催され、市長も出演し盛り上がりしました。

美祢市長登銅山文化交流館開館

4月25日、長登銅山文化交流館が開館しました。交流館は、日本の銅・古代の様子が理解でき、銅を材料とした古代銭貨や顔料「緑青」の製造方法や、現代の銅の果たす役割を紹介しています。交流館の付近は、明治維新発祥の大田・絵堂戦争が勃発した地で、この戦いの遺品も併せて展示されています。



「平成百景」に「秋吉台」が認定

読売新聞創刊135周年記念事業「平成百景」として、全国300箇所候補地の中から全国の読者の投票によって、「秋吉台」が「平成百景」に選ばれました。

秋芳プラザホテルで一酸化炭素中毒事故発生

6月2日、秋吉台の秋芳プラザホテルにおいて修学旅行で宿泊されていた、大阪府高槻市立松原小学校6年の児童や引率の教師など22名が病院に搬送され、その内1名の方が亡くなる痛ましい事故が発生しました。

秋芳洞開洞百周年記念事業続々開催

秋芳洞が観光洞として開洞して100年目を迎え、それを記念して様々なイベントが行われました。

中でも、7月25日から8月2日の9日間の限定で、世界的な照明デザイナーの石井幹子氏が手がけられた「光響ファンタジー・水と大地の神秘」が開催され、秋芳洞内をライトアップし、色とりどりの光が作り出す自然の造形美と、それに合わせた音楽の調和に訪れた人々は感動していました。



ファミリーサポートセンター開所

家族だけで、子育てを行うことが難しくなってきたり、社会情勢のなかで、住民同士が互いに支え合い子育てと仕事の両立を手助けする会員組織による、育児に関する相互援助活動で、9月にセンターを開所し、活動は10月1日から開始されました。

ミニバス

実証運行開始

市内の交通不便地域の解消のため、ミニバス（予約型乗合タクシー）による、実証運行を開始しました。運行対象地区は、山中地区・奥万倉地区・万倉地区が対象で、3月まで実証運行は行われ、今後の公共交通の施策に役立てられます。



美祢市総合計画審議会及び地域審議会より答申を受ける

平成20年度に、新市のまちづくりの指針となる総合計画の、基本的事項を諮問する機関として美祢市総合計画審議会が設置され、また、行政区域の拡大に伴う「地域住民の声が行政に届きにくくなるのでは。」といった不安や懸念を解消するため、合併前の旧市町の区域ごとに地域審議会が設置されました。

それぞれの審議会では、約1年間にわたり慎重な審議が行われ、答申を受けました。これらの答申を受け総合計画の策定・推進に反映させていきます。

自治体病院改革シンポジウムでの「美祢モデル」の発表

11月27日、11月28日、山口市で、開催された、自治体病院改革シンポジウムにおいて、村田市長が全国各地の過疎地域の自治体モデルとなるような自治体病院のスタイルを「美祢モデル」として全国に発信したいと講演しました。「美祢モデル」とは、2病院を1つとして捉え、それぞれの機能を特化分業していくことにより、地域住民の実情に合った質の高い医療確保するという命題に込めるものです。

「日本年金機構」が2010年1月1日からスタート!

～社会保険庁が廃止され、新たに「日本年金機構」がスタートします。～

国民の皆様の信頼に応え、一層のサービス向上の実現を目指し、社会保険庁は組織・人員を一新し、「日本年金機構」として生まれ変わります。

- 現在あるお近くの社会保険事務所は、新たに「年金事務所」と名称が変わりますが、年金相談などの窓口として引き続きご利用いただけます。また、「年金事務所」は、現在ある社会保険事務所の建物をそのまま使用しますので、所在地に変更はありません。
- 日本年金機構の設立に伴い、これまで社会保険庁や社会保険事務所の名義でご案内していた各種の関係書類は、内容により、今後は厚生労働省または日本年金機構の名義でご案内させていただくこととなりますが、国民の皆様方に何らかの手続きをしていただくことは一切ございませんので、ご安心ください。
- 日本年金機構は、社会保険庁から公的年金の運営業務を引き継いで行うこととなりますが、公的年金制度は、国の制度として、その財政や運営に国が引き続き責任を持つことについては、これまでと変わりません。

問合わせ先

市市民課保険年金係 (☎0837②5231)

平成22年1月1日

公的年金の運営業務

日本年金機構

社会保険庁

廃止

公的年金の
財政責任・運営責任

厚生労働省

俳句と短歌

【美祢つぼみ句会】

初明りまず新しき顔となり
市の歴史また新たな初日の出
中洲なるみ
藤本 寿和

【美祢あざざり句会】

七草や生きる幸せ粥に浮き
水鳥も浮かんだままに去年今年
阿座上礼子
由良野とき美

【美東俳句会】

手柄話聞きつつ囲む牡丹鍋
ありふれた暮らしに慣れて年つまる
岩佐 晴子
重富 八重

【秋芳野火句会】

大旦好句好歌を先ずよみし
健やかに深めし句縁初句会
石部生涯子
谷 やす子

【ホトトギス秋芳句会】

未来とは希望の言葉初御空
背の丈を見上げて孫へお年玉
桑原 幸子
末永よね子

【河原短歌会】

裏庭に古木となりし金木犀
枝ととのえて師走待つなり
伊賀 洋子

粥食ふる嬸が言いぬ元のごと
「元気になる」…に領きかえす
吉屋 良子

手間かけて一人夜なべの渋皮煮
姑の如くに老いゆく我が
伊藤 悦子

【於福短歌会】

小春日に洗いあげたる竿二本
洗濯ものが白くかがやく
高橋 好子

ようやくに痛み遠のく朝まだき
点滴の管、私をつなぐ
奥山 芳江

孫ら弾くピアノマラソン聴きいれば
農する我も和みてゆけり
村田サチ子

まちかどホットライン

11/4

秋の叙勲受賞者

きよくじつそうこうしょう
旭日双光章 青木 護氏 (美東町)

平成21年秋の叙勲受賞者で長年の功績を認められ、青木護さん(美東町)が旭日双光章(地方自治功労)を受賞されました。

青木護さんは、昭和58年4月に美東町議会議員に当選され、6期24年にわたり町政に携われ、その間、議会議長、副議長などを歴任され、「西条柿」の栽培、「美東味の館」「直売所みとう」の開設運営、「道の駅みとう」及びコミュニティマートの開設実現など、経済、教育、文化、福祉の向上に尽力されました。

